



平成 31 年 3 月 28 日

独立行政法人国立科学博物館

報道関係各位

日本博公式企画

企画展「100 年前の東京と自然 ―プラントハンター ウィルソンの写真から―」
開催のお知らせ

国立科学博物館では 2019 年 4 月 13 日（土）から 6 月 16 日（日）までの期間で、下記のとおり、日本博公式企画 企画展「100 年前の東京と自然 ―プラントハンター ウィルソンの写真から―」を開催いたしますので、お知らせします。

屋久島にある巨大な切り株（ウィルソン株）にその名を残す英国人アーネスト・ヘンリー・ウィルソンは、アジアで主に活動したプラントハンターとして知られる植物学者です。日本には大正初期の 1914 年から 1919 年の間に訪れ、サクラやツツジを欧米に紹介し、日本の植物学の発展にも貢献しました。同時に、日本国内で撮影した多数の写真も残していました。本展では、彼がおおよそ 100 年前に日本で撮った写真と同じアングルで撮影した現在の写真とを比較するとともに、サクラやツツジを中心に彼が行った日本の植物研究を紹介します。

記

【会 場】国立科学博物館日本館地下 1 階多目的室及び地球館 1 階オープンスペース

（東京都台東区上野公園 7-20）

【開催期間】2019 年 4 月 13 日（土）～6 月 16 日（日）

【入 館 料】常設展示入館料のみでご覧いただけます。

（一般・大学生：620 円（団体 500 円）高校生以下および 65 歳以上無料

※団体は 20 名以上）

【休 館 日】毎週月曜日（4 月 29 日、5 月 6 日、6 月 10 日は開館）、5 月 7 日（火）

【主 催】国立科学博物館

【協 力】古居智子（作家）、ハーバード大学アーノルド樹木園、

（一財）沖縄美ら島財団、沖縄県立博物館・美術館、

東京大学大学院理学系研究科附属植物園、（公財）屋久島環境文化財団、

東京新聞、琉球新報社

【展示概要】別添のチラシ参照

【問合せ先】国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 担当：鈴木

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL：03-5814-9887、FAX：03-5814-9898

E-mail：kikakuten@kahaku.go.jp

※「日本博」は、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、日本の美や日本の魅力を国内外に発信することを目的に全国で行われる展覧会及びイベント等一連の事業です。

展示監修者のプロフィール



国立科学博物館 植物研究部 多様性保全研究グループ研究主幹
堤 千絵（つつみ ちえ）

専門は植物進化学で、着生植物の進化に関する研究や、シダ植物ゼンマイやラン科クモキリソウ属などの分類、系統、進化について研究しています。筑波実験植物園の研究員を兼任し、植物園における教育普及活動の活性化にも取り組んでいます。



作家

古居 智子（ふるい ともしこ）

米国ボストンでジャーナリストとして活動後、屋久島に移住し、日本と欧米の交流史や、屋久島の歴史、文化、自然などをテーマに執筆活動しています。2011 年よりウィルソンの調査を開始し、資料の発掘と整理、取材、執筆に取り組んでいます。

主な著書：『100 年前の東京と自然-プラントハンター ウィルソンの写真-』（八坂書房）、『ウィルソンの屋久島 - 100 年の記憶の旅路』（KTC 中央出版、平成 26 年南日本出版文化賞受賞）、『ウィルソンが見た鹿児島 - プラントハンターの足跡を追って』（南方新社）、『ウィルソン 沖縄の旅 1917』（琉球新報社）、『密行 最後の伴天連シドッティ』（新人物往来社）など。

広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの各種手続き・報道関係資料→写真・施設の貸出からお申し込みできます。
(<http://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



企画展

日本博公式企画

100年前の東京と自然 —プラントハンター ウィルソンの写真から—

2019. 4.13(土)～6.16(日)

国立科学博物館 日本館地下1F多目的室/地球館1Fオープンスペース

●開館時間 ●午前9時～午後5時
※金曜・土曜日及び4月28日(日)～5月5日(日)は
午後8時まで、5月6日(月)は午後6時まで
※入館は各開館時刻の30分前まで
●休 館 日 ●毎週月曜日(4月29日、5月6日、6月10日は開館)、
5月7日(火)
●入 館 料 ●一般・大学生620円(団体500円)
高校生以下及び65歳以上無料
※常設展示入館料のみで賄えます。

●主 催 ●国立科学博物館
●協 力 ●古田繁子(作家)、ハーバード大学アーノルド樹木園、
〈一財〉仲御茶屋島財団、沖縄県立博物館・美術館、
東京大学大学院理学系研究科植物学専攻
〈公財〉屋久島環境文化財団、東京新聞、読売新聞社

本展覧会は、国立科学博物館の所蔵する「ウィルソン」の写真から、
100年前の東京と自然の様子を再現しています。写真の著作権は、
国立科学博物館にあり、本展覧会では複製・転載を許可して
います。ただし、複製・転載の際は、必ず国立科学博物館の
ロゴマークを記載してください。

国立科学博物館
National Museum of Nature and Science



1. 企画展ポスター画像

2. ウィルソン肖像写真

©President and Fellows of Harvard College, Arnold Arboretum Archives

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 展覧会の開催情報紹介欄に、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は確認のため、校正の段階でお送りください。(記事内容をチェックするものではありません。)
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りいたしますようお願い申し上げます。

〈問合せ先〉国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当
電話 03-5814-9887 FAX 03-5814-9898
E-mail ; kikakuten@kahaku.go.jp
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20



枝垂桜
 校月院(東京都八王子市) 1914. 4.1
 枝垂桜 E. H. Wilson 撮影

© President and Fellows of Harvard College, Arnold Arboretum Archives

企画展

日本博公式企画

100 年前の東京と自然

— プラントハンター ウィルソンの写真から —

2019. 4.13(土) ~ 6.16(日)

国立科学博物館 日本館地下1F多目的室/地球館1Fオープンスペース

- 開館時間●午前9時~午後5時
 ※金曜・土曜日及び4月28日(日)~5月5日(日)は午後8時まで、5月6日(月)は午後6時まで
 ※入館は各閉館時刻の30分前まで
- 休館日●毎週月曜日(4月29日、5月6日、6月10日は開館)、5月7日(火)
- 入館料●一般・大学生620円(団体500円)
 高校生以下及び65歳以上無料
 ※常設展示入館料のみでご覧いただけます。

- 主 催●国立科学博物館
- 協 力●古居智子(作家)、ハーバード大学アーノルド樹木園、(一財)沖縄美ら島財団、沖縄県立博物館・美術館、東京大学大学院理学系研究科附属植物園(公財)屋久島環境文化財団、東京新聞、琉球新報社

本事業は文化庁が定める「日本博」の公式企画となっています。「日本博」は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、日本の美や日本の魅力を国内外に発信することを目的に全国で行われる展覧会及びイベント等一連の事業です。



国立科学博物館
 National Museum of Nature and Science



駐日英国大使館前(東京都千代田区)
1914. 4.5 E. H. Wilson 撮影



駐日英国大使館前(東京都千代田区)
2018. 3.28 飯窪敏彦撮影



浄福寺(東京都八王子市)
2018. 3.30 飯窪敏彦撮影



浄福寺(東京都八王子市)
1914. 4.1 E. H. Wilson 撮影



神田川(東京都新宿区)
1914. 4.5 E. H. Wilson 撮影

© President and Fellows of Harvard College, Arnold Arboretum Archives

100年前の東京と自然—ウィルソンの写真から—

プラントハンター

「もし写真や標本で記録を残さなかったならば、100年後にはその多くは消えてなくなってしまうだろう。」

(1920年 アーネスト・ヘンリー・ウィルソン)

屋久島にある巨大な切り株(ウィルソン株)にその名を残す英国人アーネスト・ヘンリー・ウィルソンは、主にアジアで活動したプラントハンターとしても知られる植物学者です。日本には大正初期の1914年から1919年に訪れ、サクラやツツジを欧米に紹介し、日本の植物学の発展にも貢献しました。同時に、日本国内で撮影した多数の写真も残っていました。ウィルソンの写真から、100年を経て劇的に変わった風景と、対照的にいまなお命をつなぐ樹木の姿が浮かびます。

日本館地下1F多目的室

100年前の東京と自然

ウィルソンが東京ならびに周辺で撮影した数々のサクラ、イチョウ、フジなどの植物や風景写真を展示します。現存するものもあれば、失われてしまったものも多くあります。100年前の写真と同じアングルから撮影した現在の写真、ウィルソンの人物像やサクラの研究についても紹介します。

地球館1Fオープンスペース

ウィルソンが見た鹿児島・沖縄

屋久島のウィルソン株や屋久杉の太古の森、鹿児島に残るクスノキの巨樹、大正大噴火直後の桜島、今は米軍基地の一部となった沖縄のリウキュウマツ並木など、鹿児島や沖縄でウィルソンが撮影した写真と、現代の写真を展示します。

特別講演会開催決定!

「1914、ウィルソン、東京、サクラ」

日時: 2019年4月13日(土) 14:00~16:00 会場: 日本館2F講堂

内容: 「ウィルソンが見た100年前の東京と樹木」 古居智子(作家)

「サクラの分類におけるウィルソンの功績」 勝木俊雄(森林総合研究所)

定員: 100名。事前申込制。申込方法や詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.kahaku.go.jp>

ウィルソンとは?

アーネスト・ヘンリー・ウィルソン(1876-1930)。中国奥地からハンカチノキやリーガルリリーをイギリスに持ち帰ったことでも知られます。中国、日本、樺太、台湾、朝鮮半島などを探検し、野生種と園芸植物も多数欧米に紹介しました。16歳でパーミングム植物園の庭師見習いになり、21歳でキュー王位植物園に雇用され、のちにアメリカのアーノルド樹木園の園長を務めました。

<アクセス>

JR「上野駅」公園口から徒歩5分
東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」から徒歩10分
京成電鉄「京成上野駅」から徒歩10分
※当館には駐車場および駐輪場はございません
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
TEL: 03-5777-8600(ハローダイヤル)
FAX: 03-5814-9898

